

### 3. 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画

#### （中期目標）

中期目標期間における予算、収支計画及び資金計画について、各事業における自己収入比率等の目標を考慮した上で適正に計画し、健全な財務体質の維持を図る。

#### （中期計画）

（1）予算 （2）収支計画 （3）資金計画については以下のとおり

中期計画予算（平成15年度～平成18年度）

予算

収支計画

資金計画

(単位:百万円)		(単位:百万円)		(単位:百万円)	
区	金額	区	金額	区	金額
収入		費用の部	53,687	資金支出	57,649
政府借入金	0	経常費用	53,660	業務活動による支出	51,931
運営費交付金	32,038	人件費	12,624	投資活動による支出	3,169
施設整備費補助金	3,150	業務費	36,773	財務活動による支出	95
政府補助金	13,484	管理関係業務費	4,263	次期中期目標の期間への繰越金	2,454
回収金等収入	3,938	一般管理費	4,263	資金収入	57,649
業務収入	4,977	減価償却費	0	業務活動による収入	54,480
その他収入	43	財務費用		運営費交付金による収入	32,038
前年度繰越金受入	19	貸倒引当金繰入	0	政府補助金による収入	13,484
計	57,649	臨時損失	27	業務収入	8,915
支出		固定資産除却損	0	その他収入	43
人件費	12,624	貸倒損失	27	投資活動による収入	3,150
業務経費	33,623	収益の部	53,692	施設整備費による収入	3,150
施設整備費	3,150	運営費交付金収益	32,038	その他収入	0
一般管理費	4,282	政府補助金	16,607	財務活動による収入	
貸付資金	1,421	業務収入	4,977	政府借入金による収入	0
借入金償還	95	その他収入	43	繰越金	19
計	55,195	寄付金収益	0		
		資産見返運営費交付金戻入	0		
		資産見返補助金戻入	0		
		貸倒引当金戻入	0		
		臨時利益	0		
		回収不能債権補填金収入	27		
		純利益	5		
		目的積立金取崩額	0		
		総利益	5		

#### （予算の説明）

1. 人件費は、退職手当金を含んでおり、このうち役員報酬並びに職員基本給、職員諸手当及び超過勤務手当に相当する範囲の人件費見積額については、期間中総額 12,221 百万円を支出する予定である。
2. 当法人における退職手当については、役員・職員退職手当支給基準に基づいて支給することとなるが、その全額について、運営費交付金を財源とするものと想定している。
3. 回収不能債権補填金として国が負担する額は、「債権管理規程」に基づき適正に管理した結果、破綻債権として償却されたものに限定する。

#### （運営費交付金の算定ルール）

次頁のとおり。

## 運営費交付金の算定ルール

運営費交付金 = 一般管理費 + 業務経費 + 特殊要因 - 自己収入

### 1. 一般管理費

15年度においては、積み上げ方式による。

16年度以降においては、前年度一般管理費 × 効率化係数

前年度一般管理費 = 前年度人件費 × 昇給原資率 × 給与改定率 + 前年度その他一般管理費 × 消費者物価指数

・ 効率化係数は、0.97/年

・ 消費者物価指数は、毎年度予算編成過程において決定

・ 昇給原資率及び給与改定率は、運営状況等を勘案して措置

### 2. 業務経費

15年度においては、積み上げ方式による。

16年度以降においては、前年度業務経費 × 効率化係数 × 消費者物価指数

・ 効率化係数は、0.99/年

・ 消費者物価指数は、毎年度予算編成過程において決定

### 3. 特殊要因

積み上げ方式による。

### 4. 自己収入

15年度においては、積み上げ方式による。

16年度以降においては、前年度自己収入 × 自己収入調整率

・ 自己収入調整率は、運営状況等を勘案して措置

【注記】 前提条件

・ 消費者物価指数 : 期間中は 1.0000 として推計

**(年度計画)**

(1) 予算 (2) 収支計画 (3) 資金計画については以下のとおり  
中期計画予算 (平成 18 年度)

予算

(単位:百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	8,689
施設整備費補助金	830
政府補助金	3,369
回収金等収入	1,039
業務収入	1,422
その他収入	47
前年度繰越金受入	0
計	15,395
支出	
人件費	3,478
業務経費	8,821
施設整備費	830
一般管理費	1,187
貸付金	278
計	14,594

収支計画

(単位:百万円)

区 分	金 額
費用の部	12,991
経常費用	12,990
人件費	3,478
業務費	7,894
管理関係業務費	1,614
一般管理費	1,156
減価償却費	458
財務費用	
支払利息	4
臨時損失	1
固定資産除却損	1
貸倒損失	0
収益の部	15,859
運営費交付金収益	10,676
政府補助金	3,369
業務収入	1,422
その他収入	52
寄付金収益	0
資産見返運営費交付金戻入	192
資産見返補助金戻入	111
資産見返物品受贈額戻入	3
貸倒引当金戻入	34
臨時利益	0
純利益	2,868
目的積立金取崩額	0
総利益	2,868

資金計画

(単位:百万円)

区 分	金 額
資金支出	20,518
業務活動による支出	13,140
投資活動による支出	1,274
財務活動による支出	153
翌年度への繰越金	5,951
資金収入	20,518
業務活動による収入	14,941
運営費交付金による収入	8,689
政府補助金による収入	3,369
業務収入	2,461
その他収入	423
投資活動による収入	1,850
有価証券の償還による収入	1,000
施設整備費による収入	830
投資その他の資産の精算による収入	20
その他収入	0
財務活動による収入	
政府借入金による収入	0
繰越金	3,727

(予算の説明)

1. 人件費は、退職手当金を含んでおり、このうち役員報酬並びに職員基本給、職員諸手当及び超過勤務手当に相当する範囲の人件費見積額については、期間中総額 2,880 百万円を支出する予定である。
2. 当法人における退職手当については、役員・職員退職手当支給基準に基づいて支給することとなるが、その全額について、運営費交付金を財源とするものと想定している。
3. 回収不能債権補填金として国が負担する額は、「債権管理規程」に基づき適正に管理した結果、破綻債権として償却されたものに限定する。

(運営費交付金の算定ルール)

中期計画(15 年度～18 年度)と同じ。  
ただし、18 年度の消費者物価指数は、  
0.999

## 実績値

### 中期計画実績(平成18年度)

#### 予算

(単位:百万円)

区 分	計 画	実 績	差
<b>収入</b>			
運営費交付金	8,689	8,689	0
施設整備費補助金	830	819	11
政府補助金	3,369	2,842	527
回収金等収入	1,039	921	119
業務収入	1,422	1,802	381
その他収入	47	67	20
前年度繰越金受入	0	0	0
<b>計</b>	<b>15,395</b>	<b>15,140</b>	<b>256</b>
<b>支出</b>			
人件費	3,478	3,476	2
業務経費	8,821	7,714	1,107
施設整備費	830	819	11
一般管理費	1,187	1,183	5
貸付金	278	226	52
<b>計</b>	<b>14,594</b>	<b>13,417</b>	<b>1,177</b>

各々、百万円未満を四捨五入。

#### 収支計画

(単位:百万円)

区 分	計 画	実 績	差
<b>費用の部</b>	<b>12,991</b>	<b>11,867</b>	<b>1,124</b>
経常費用	12,990	11,866	1,124
人件費	3,478	3,476	2
業務費	7,894	6,707	1,187
管理関係業務費	1,614	1,679	64
一般管理費	1,156	1,163	7
減価償却費	458	515	57
財務費用			
支払利息	4	5	1
臨時損失	1	1	1
固定資産除却損	1	1	1
貸倒損失	0	0	0
<b>収益の部</b>	<b>15,859</b>	<b>16,713</b>	<b>855</b>
運営費交付金収益	10,676	11,676	1,000
政府補助金	3,369	2,803	566
業務収入	1,422	1,792	371
その他収入	52	89	37
寄付金収益	0	0	0
資産見返運営費交付金戻入	192	236	43
資産見返補助金戻入	111	110	1
資産見返物品受贈額戻入	3	3	0
貸倒引当金戻入	34	3	30
臨時利益	0	1	1
回収不能債権補填金収入	0	0	0
<b>純利益</b>	<b>2,868</b>	<b>4,846</b>	<b>1,979</b>
目的積立金取崩額	0	0	0
<b>総利益</b>	<b>2,868</b>	<b>4,846</b>	<b>1,979</b>

## 資金計画

(単位:百万円)

区 分	計 画	実 績	差
<b>資金支出</b>	<b>20,518</b>	<b>20,424</b>	<b>94</b>
業務活動による支出	13,140	11,953	1,187
投資活動による支出	1,274	5,436	4,162
財務活動による支出	153	169	16
翌年度への繰越金	5,951	2,866	3,085
<b>資金収入</b>	<b>20,518</b>	<b>20,424</b>	<b>94</b>
業務活動による収入	14,941	14,686	255
運営費交付金による収入	8,689	8,689	0
政府補助金による収入	3,369	2,842	527
業務収入	2,461	2,707	246
その他収入	423	449	26
投資活動による収入	1,850	1,821	29
有価証券の償還による収入	1,000	1,000	0
施設整備費による収入	830	819	11
投資その他の資産の精算による収入	20	2	18
その他収入	0	0	0
財務活動による収入			
政府借入金による収入	0	0	0
繰越金	3,727	3,916	190

実績値が目標に達しない場合にはその理由

その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

## 4 . 短期借入金の限度額

### ( 中期目標 )

中期目標期間における予算、収支計画及び資金計画について、各事業における自己収入比率等の目標を考慮した上で適正に計画し、健全な財務体質の維持を図る。

### ( 中期計画 )

予見し難い事故等の事由により資金不足となる場合に限り、短期借入金の限度額 1,600 百万円とする。

### ( 年度計画 )

予見し難い事故等の事由により資金不足となる場合に限り、短期借入金の限度額 1,600 百万円とする。

### 年度計画における目標値設定の考え方

中期計画と同様の目標とした。

### 実績値

短期借入は行わなかった。

### 実績値が目標に達しない場合にはその理由

### その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

## 5. 重要な財産を譲渡し、又は担保にする計画

### (中期目標)

中期目標期間における予算、収支計画及び資金計画について、各事業における自己収入比率等の目標を考慮した上で適正に計画し、健全な財務体質の維持を図る。

### (中期計画)

重要な財産を譲渡し、又は担保にする計画  
なし

### (年度計画)

重要な財産を譲渡し、又は担保にする計画  
なし

### 年度計画における目標設定の考え方

計画なし

### 当該年度における取組み

計画なし

### その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

## 6. 剰余金の使途

### (中期目標)

中期目標期間における予算、収支計画及び資金計画について、各事業における自己収入比率等の目標を考慮した上で適正に計画し、健全な財務体質の維持を図る。

### (中期計画)

剰余金が発生した場合には、独立行政法人通則法第44条第3項の規定による国土交通大臣の承認を受けて、利用者サービス充実のための環境の整備、職員研修の充実に充てる。

### (年度計画)

剰余金が発生した場合には、独立行政法人通則法第44条第3項の規定による国土交通大臣の承認を受けて、利用者サービス充実のための環境の整備、職員研修の充実に充てる。

### 年度計画における目標設定の考え方

中期計画と同様の目標とした。

### 当該年度における取組み

なし。

### その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

## 7. その他主務省令で定める業務運営に関する事項

### (1) 施設及び設備に関する事項

#### (中期目標)

業務の確実な遂行のため、施設・設備の計画的な整備・更新を進めるとともに、適切な維持管理を行うこと。

#### (中期計画)

施設整備費は、業務の適正かつ効率的な実施を確保するため、療護センターに関連した施設・設備の新設及び老朽化等に伴う整備改修等を計画的に行う。

(単位：百万円)

施設・設備の内容	予定額	財源
千葉療護センター 介護病床	1,489	施設整備費補助金
千葉療護センター 陽電子放射断層撮影装置(PET)	830	同上
東北療護センター 磁気共鳴断層撮影装置(MRI)	415	同上
岡山療護センター 磁気共鳴断層撮影装置(MRI)	415	同上

(注) 上記のほか、業務の実施状況及び老朽度合等を勘案して、施設・設備の整備等を行うことができる。

#### (年度計画)

施設整備費は、業務の適正かつ効率的な実施を確保するため、療護センターに関連した施設・設備の新設及び老朽化等に伴う整備改修等を計画的に行う。

(単位：百万円)

施設・設備の内容	予定額	財源
千葉療護センター 陽電子放射断層撮影装置(PET) 整備	830	施設整備費補助金

(注) 上記のほか、業務の実施状況及び老朽度合等を勘案して、施設・設備の整備等を行うことができる。

#### 年度計画における目標値設定の考え方

平成18年度は、中期計画に基づき、千葉療護センターにおける「陽電子放射断層撮影装置(PET)」の施設・設備の整備(新設)を行うこととした。

## 実績値

平成18年度は、中期計画に基づき、千葉療護センターにおける「陽電子放射断層撮影装置（PET）」の施設・設備の整備（新設）を行った。

### 施設・設備の整備に関する予定額と実績額

（単位：百万円）

施設・設備の内容	予定額	実績額
千葉療護センター 陽電子放射断層撮影装置（PET） 整備	830	819

実績値が目標に達しない場合にはその理由

その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

## (2) 人事に関する事項

### (中期目標)

業務を的確かつ効率的に遂行するため、職員の能力開発を促進するとともに、適正な要員数とするよう務める。

### (中期計画)

#### 方針

中期目標期間中において、サービスその他業務の質の向上を図りつつ、業務全般における業務プロセスの見直しや集約化等を実施し、業務運営の効率化を図ることにより、計画的な削減を行い人員の抑制に努める。

#### 人材の育成

指導講習業務における講師の育成や適性診断業務のカウンセリング技術の向上を図るため、研修制度を充実し、職員の資質を向上させる。

#### 人員に関する指標

中期目標期間の最終年度までに、職員数を抑制する。

#### 〔参考〕

1) 期初の常勤職員数	340人
2) 期末の常勤職員見込み	336人

### (年度計画)

#### 方針

サービスその他業務の質の向上を図りつつ、業務全般における業務プロセスの見直しや集約化等を実施し、業務運営の効率化を図ることにより、計画的な削減を行い人員の抑制に努める。

#### 人材の育成

指導講習業務における講師の育成や適性診断業務のカウンセリング技術の向上を図るため、研修制度を充実し、職員の資質を向上させる。

#### 人員に関する指標

職員数を抑制する。

#### 〔参考〕

1) 期初の常勤職員数	336人
2) 期末の常勤職員数	334人

### 年度計画における目標設定の考え方

計画的な削減を行い人員の抑制に努めるとともに、研修制度を充実し、職員の資質を向上させる。

業務運営の一層の効率化により、2名の人員削減を行う。

## 当該年度における取組み

### 1) 平成18年度における取組み

業務運営の一層の効率化により、中期計画を2名上回る削減を行い、平成18年度末の常勤職員数は、334人とした。

#### 各研修制度の実施

##### (1) 指導講習業務における講師の育成強化

- ・指導講習業務のうち、「自動車運転者の適性管理に関すること」や「事故事例の分析に基づく自動車事故防止に関するグループ討議」等について講義することができる第 種指導講習講師として、9人を育成した。
- ・指導講習業務のうち、第 種指導講習講師が行うことができる講義に加えて、「自動車事故に係る生理的及び心理的な要因に関すること」や「事故事例の分析に基づく運行管理上の要因の発見及び事故防止対策の立案に関すること」等について講義することができる第 種指導講習講師として、17人を育成した。

##### (2) 適性診断業務のカウンセリング技術の向上強化

- ・初任診断や適齢診断などにおいてカウンセリングを実施することができる特定適性診断員を育成する特定適性診断員研修を実施し、4人を特定適性診断員として指名した。
- ・特定適性診断員119人に対して、特定適性診断員教育訓練研修を実施し、適性診断技能の資質向上を図った。
- ・特定適性診断員16人に対して、特定適性診断員の資質向上のために同診断員を指導する資格を持つ特定適性診断員指導主任者資格者となるための研修を実施し、指導のための技能向上を図った。
- ・特定適性診断員の資質向上のために同診断員を指導する者である特定適性診断員指導主任者26人に対して、特定適性診断員主任指導者教育訓練研修を実施し、同指導主任者の診断技能の一層の資質向上及び指導のための技能向上を図った。

##### (3) 安全マネジメント業務の展開に向けた対応

- ・安全マネジメント担当者70人に対して、安全マネジメント担当者研修を実施し、安全マネジメントに関する最新の情報知識の習得及び技能向上を図った。

##### (4) その他

各研修において、顧客サービス向上のために接遇カリキュラムを導入した。

## その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報